

地対協コーナー

新しい年を迎え、すでに半月が過ぎようとしています。本年もどうぞよろしく願いいたします。

昨年から具体的な取組が開始された地域医療構想の策定について、広島県では3月頃に広島県医療審議会で構想素案について審議し、答申を県知事へ提出するといった流れが予定されています。

常々申し上げておりますが、地域医療構想は単なる病床削減を前提とするものではなく、人口構造の変化に応じた医療提供体制の構築に向けたものです。地対協内に設置の各種委員会もこうしたものと連動し、専門家集団として将来の広島県のあるべき姿に向けた対策を講じていく必要があります。

さて、今号は、昨年11月に開催した終末期医療のあり方検討専門委員会や特定健診受診率向上専門委員会の活動をお届けします。いずれの事業の推進にも県民市民の協力は不可欠で、生活習慣の改善対策、各種健診の徹底を図ることで、健康寿命の延伸、さらには県民市民が自身の健康管理に目を向けていただければと考えます。

活動や運営にあたり、皆さまのご要望やご意見などがございましたら、遠慮なく、事務局までお寄せください。また、過去の委員会活動などは、地対協ホームページ (<http://www.citaikyو.jp/>) へ掲載していますので、アクセスをお待ちしております。

○終末期医療のあり方検討専門委員会

日時：平成27年11月18日(水) 19時00分

場所：広島医師会館6階 第1会議室

委員長：本家 好文

今年度事業として県内6地区で実施のモデル事業の進捗状況や手引き改訂WGの検討結果について報告し、手引き改訂案と実際の運用方法について協議した。手引き改訂版については委員会内での意見を反映し、12月を目途に発行する予定。

報告・協議事項

1) モデル事業の進捗状況について

今年度モデル事業の実施に向け、全地区医師会に公募を行ったところ、6地区より手上げがあった。各地区の希望を尊重し、全地区(呉市医師会、福山市医師会、因島医師会、安芸地区医師会、佐伯地区医師会、広島市東区医師会)で会員向け、関係職種向け、市民向けの啓発事業を実施いただいている。

11月18日までに呉、因島、福山で会員・関係者向けの研修会が実施されたことや今後の予定などについて報告した。

2) 手引き・心づもりの改訂について

手引きの改訂についてはWGを設置し、各ステップの内容と「私の心づもり」の整合性や、表紙デザイン、レイアウトを中心に検討した旨報告した。

表紙のサブタイトルは「～私の心づもり～」

とする、私の心づもりのステップ4の表題を手引きと揃え、ステップ5の表題を追加する、「主治医」の表現を「かかりつけ医やその他の医療者」や「医療者」へ変更することとした。

また、手引き等の改訂に併せ、チラシもデザイン変更に伴い、よりわかりやすいものに改訂する予定とした。

3) 運用方法について

運用にあたり、委員長より地域全体を巻き込んだ取り組みや、既存事業への組み込みなども含めて検討をしたいと説明があった。

ACPの導入に際し、最終的にはデータの集積や分析する上で、倫理委員会等での議論が必要になることが想定されるため、引き続きの調整・協議事項とした。

昨年度、モデル事業を実施した東広島地区や安芸地区医師会からは、ケアマネジャーがケアプランを検討する際の材料の一つとする意見が、委員からは、市町の地域支援事業において終末期に関する事業が含まれているため、行政職員への啓発、さらには退院時カンファレンスの活用なども視野に入れ、MSWへの普及啓発などを要望する意見があった。

また、「私の心づもり」の保管方法については、原則本人保管となるが、記入した物をどこに保管しているか、家族や代理人が把握しておく必要があるといった指摘があり、東広島市等で実際に使用している「命の宝箱」についての紹介があった。

○特定健診受診率向上専門委員会

日 時：平成27年11月30日(月) 19時00分

場 所：広島県医師会 3階 301会議室

委員長：木原 康樹

これまでの活動総括と広島県の現状や取り組みを報告後、受診率向上に向けた対策について協議した。今後、県内での特定健診に係る事務作業に関する状況把握を行った上で、集約・統一化の検討や、医療機関向けマニュアルの作成に向けて調査を行うこととした。

報告・協議事項

1) 広島県市町国保の特定健診等実施状況について

広島県より、平成25年度の全国の特定健診受診率と平成26年度の広島県内市町国保の受診率について報告があった。平成26年度は、前年度の22.1%から、1.8%上昇し23.9%となっている。なお、当該受診率については、法定報告の数字のため変動の可能性があるとのことだった。

2) 市町国保の特定健診受診結果について

広島県より、emitasG(特定健診等受診結果データベース)を利用した市町別リスク別分析について報告があった。同データはホームページにて公開し、各市町行政に対して保健事業への活用を依頼している。委員からは、同データに受診者数の記載がないため、バイアスのかかった可能性があることに留意する必要があるとの指摘があった。

3) 今後の受診率向上の方策について

平成25年度に実施した医療機関対象のアンケート結果から請求事務等の煩雑さを指摘する声が多く見られたため、本年9月に各地区医師会

を対象に特定健診集合契約参加医療機関への支援状況について調査した。その結果、多数の地区医師会から、医療機関対応マニュアルの作成を希望する声があった。

また、特定健診の集合契約参加医療機関の数も減少傾向にあることから、特定健診や集合契約そのものに関する理解をいただく必要があるため、委員会としてマニュアル作成を行う提案をし、了承された。

ただし、請求事務の煩雑さに市町や請求事務代行を行う検査センターや検査機関によってばらつきがあるため、まずは、広島県内全市町での請求事務手続きや書式について調査し、問題点を把握すること、将来的には煩雑さを解消するため統一化に向けた検討の必要性が指摘された。

場合によっては受診率の高い東京都などの請求事務手続きの聞き取りや視察をなど行い、参考とするよう提案があった。

また、広島県から今年度の各市町国保の取り組み状況について聞き取り結果が報告された。

その中で、いくつかの市町から治療中の方の情報提供の全県的な集合契約化に向けた要望があることから、医師会等関係機関と調整の上、今後検討を行いたい旨、説明があった。

委員からは、各市町が現在独自で対応している追加の検査項目について質問があり、広島県としては、受診率の高い東京都は老人基本健康診査時の検査項目をそのまま実施していることから、全市町へ向けて基準以上の項目設定の検討をお願いするように呼びかけていると回答があった。

県地对協からの提供資料について

県地对協では以下の県内共通クリティカルパス、パンフレット、マニュアル等を作成しています。ご入り用の際は下記事務局までご連絡ください。

【地域連携クリティカルパス】

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| ○乳がん患者さんのための「わたしの手帳 Ver.4」 | ○肺がん術後患者用「わたしの手帳 Ver.2」 |
| ○心筋梗塞・心不全 手帳 地域連携パス | ○C型肝炎「わたしの手帳」 |
| ○肝がん「わたしの手帳」 | ○胃がん「わたしの手帳」 |
| ○胃がん内視鏡「患者用地域連携パス」 | ○大腸がん「わたしの手帳」 |
| ○大腸がん内視鏡「患者用地域連携パス」 | など |

【パンフレット・マニュアル】

- 予防接種の普及を目指して ACPの手引 ～私の心づもり～
- 医療従事者等における体液曝露事故後のHIV感染防止マニュアル
- 「広島県内のダニ類媒介感染症～つつが虫病、日本紅斑熱、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」リーフレット

【報告書】

- 新型インフルエンザに関するアンケート調査報告書

【事務局】 広島県医師会地域医療課 電話：082-568-1511 Eメール：citaikyo@hiroshima.med.or.jp

※一部ホームページにて公開中

広島県 地对協

検索 